

扇の松の木の下で

~ 花水をもっと「わたしたちのまち」に ~

第2号

2002年7月1日(月)

編集：花水地区福祉
コミュニティづくり
グループ広報部

メンバー募集

このまちに あなたの力を 貸してください！

花水を住みやすいまちにするために
一緒に学んだり、話し合ったりしてみませんか？

例えば、こんなこと

困った時の相談ばかりでなく
隣近所の助け合い

自分たちができるることを
いつでも、どこでも、楽しく、

そして、いつまでも住みたいと思うまちに。



たすけあいマップづくり

年齢、性別、職業、一切不問です。どんな小さな形でも、ご参加いただければと思います。
参加を希望される方は、まず下記の全体会にご出席くださるようお願いします。

花水地区福祉コミュニティづくりグループ全体会

日 時 7月27日(土) 14:00 ~ 16:00

会 場 花水公民館 2階会議室

申込み (期間) 7月8日(月) ~ 7月27日(土) 申込みは、次の ~ いずれかの方法で！
(方法) 下記の 参加申込み用紙 にご記入の上、花水公民館の窓口にお申込みください。
(方法) FAX (花水公民館 35-2533) 又は E-mail (hanacrosslove@anet.ne.jp) でお申込みください。(氏名、住所、電話番号をご記入ください)
(方法) 全体会当日(7月27日)も会場でも受け付けます。

主 催 花水地区福祉コミュニティづくりグループ

協 力 花水地区町内福祉村運営協議会、花水地区自治会連絡協議会

お問合せは、芝山(22-9138) 宮坂(20-1737) 鈴木(31-9619)まで

裏面のチーム活動報告もご覧ください

きりとり線

花水地区福祉コミュニティづくりグループ・参加申込み用紙(花水公民館の窓口へ)

氏名	(フリガナ)	住所	〒	-	電話	-
----	--------	----	---	---	----	---

(学びたいこと・話したいこと・やってみたいことがありましたら、お書きください)

わたしたちのチャレンジは これからです!

平成13年度

チーム活動報告



華チーム
キーワードは“情報”

現在、華チームのメインの活動は、サロンの運営。土曜と火曜の月2回。「サロンって、床屋さんのこと?」、いえいえ、自分の暮らす地域に興味のある方なら誰でも、お茶を飲みながら気ままに意見を交わせる場のことです。前半の地域の方々へのアンケートや座談会から、様々な活動とエネルギーが地域の中には溢れているのに、それらがうまく結びついていないことを知りました。そこで、それを結びつける場づくりにチャレンジしてみようとしたのがサロンです。話しているだけでは…と思いませんか?でも、一見関係のない情報がうまく結びついたとき、難しく考えていた課題が解決される大きな力が生まれます。それだけでも決して簡単ではありません。場のもつ雰囲気や時間設定一つで情報は首を引っ込めてしまします。小さな地域だからできること。肩肘張らない地域づくりの新しい形の実験です。あなたもぶらっと覗いて情報発信してみませんか。

グループのホームページ
<http://y7.net/hanamizu/>



クロスチーム
キーワードは“交流”

<花水地区の交流の場づくりを考えよう>からスタートした私たちのチームは、花水地区の福祉に関する施設を何か所か訪問しながら、福祉の現状について話し合いを重ねました。話し合いの過程で、この地区的福祉の現状が意外と一般に知られていないことに気づき、その打開策として地図を作ることが地域福祉に役立つのではないかと考えるようになりました。

地図は<はなみずたすけあいマップ>という名称にし、地図には福祉施設の位置、民生委員・自治会長の所在地を記入し、地図の裏面には、施設の簡単な説明や困った時の相談先などを盛り込んでみました。

5月には約100名の方を対象にマップのモニター調査を行い、貴重なご意見をうかがうことができました。皆様のご意見や、今まで訪問させていただいた施設でのご意見を参考に、これからも<住みよい花水>をめざし、花水地区の福祉について真剣に考え、より見やすく役立つマップを完成させたいと考えています。



らぶチーム
キーワードは“人”

「人と人がつながる、きっかけづくりをしよう」をテーマに掲げて、きっかけづくりとなるイベント開催の話から始まりました。8か月の活動期間にイベント開催までに漕ぎ着けなかったけれど、小規模ながら住民の福祉に対する意識調査を行うことができました。

高齢者の方が集まる施設を訪問して実施した聞き取り調査や、中高生との対話とアンケートを組み合わせた意識調査です。特に将来を担う中高生の回答用紙の中に、私たちの予想を越えた、「なるほどね!」と思わせる言葉をたくさん見つけることができました。

らぶチームは、これらの言葉は貴重な資料であり今後の地域の見直しや改革に役立つものと思い、アンケートの結果をまとめ、冊子を完成させることになりました。

なお、この他にも「学校における週5日制に伴うボランティア育成」や、「福祉のまちづくりのビデオ上映会の開催」などの活動に取り組んでいきたいと考えています。

